

市民との対話事業 **市長とふれあいトーク**

実施日時	平成 24 年 6 月 21 日 (13 : 30~14 : 45)		
実施場所	松代活性化センター	参加人数	29 人
参加対象	松代地区振興会及び住民		
市側の出席者	<p>市長 税務課主事、松代支所地域振興課主任</p> <p>【懇談要旨】</p> <p>1. 発言者</p> <p>①十日町市は豪雪地であるが雪の重みで発電できないか。今後、雪を利用した発電や蓄電等の技術が出来ないものか。また市として長岡技術科学大学等の専門的な機関に打診や研究をしてもらうことができないか。</p> <p>②昨今の日本全国のいたるところで地震が発生し、特に関東においては危険区域等の報道がされている。十日町市においても大震災の大きな影響はあったが雪以外は日常的に住みよい土地であるため、都会へ住みよい自然豊かな十日町の魅力を発信し、地域を挙げての少子高齢化対策に取り組んでいただきたい。</p> <p>A. 関口市長</p> <p>①雪の重みで発電できるか分からないが、再生可能エネルギーは重要なテーマ。松之山温泉のバイナリー発電、川西の上野保育園の地熱床暖房、小水力発電など注目されている。今、吉田・浅河原にある崖の落差で何かできないか考えている。JRからの環境共生基金があるので、運用しながらいろんなことにチャレンジしていきたい。</p> <p>②60歳以降でふるさとに帰りたいと思う方、Uターン・Iターンしたいと考えている方に十日町の魅力を発信していくことが一番。地域おこし協力隊の人たちが「外から人を連れてくる組織を作って頑張ります」と言ってくれている。こうした中間支援組織にも期待している。</p> <p>2. 発言者</p> <p>①松代地域の2大インフラである「ほくほく線」と「国道253号」の状況であるが、ほくほく線は2014年問題もあり、非常に懸念している。国道253号の高規格道路の十日町～松代間の状況はどうなっているのか。</p> <p>②NHK「のど自慢」を文化ホール完成記念に向けて誘致願いたい。</p>		

A. 関口市長

- ①六日町から八箇峠を越えたところまではトンネル工事をしているが、その先がまだ決まっていない。十日町市内にどのように入ってくるか、十日町から松代にどのように道が通るかを、国や県が調査をしている。平成 29 年までに六日町から八箇までは開通させるとのことである。議会でも話したが、安塚～浦川原間に完成した高規格道路をたくさんの方に使って実感してもらいたい。ほくほく線は大丈夫。2015 年 3 月に北陸新幹線が開業する。「はくたか」は今まで通りとはいかないだろうが、現在の蓄えを活用しながら経営努力のもとに継続できる。地域でも、ほくほく線に乗ってもらえるよう沿線の魅力を発信していく中で、どれだけ利用客を増やせるかが重要。
- ②ありがたい提案だが、なかなか難しい。今年度は長岡で、アオーレの完成記念として開催される。来年でも、再来年度でも頑張りたいと思う。

3. 発言者

- ①松代小学校は平成 25 年度秋頃に完成予定だが、当初計画である 6 月現在も着工していない。タイムスケジュールはどうなっているのか。
- ②登下校の通路に落雪する設計となっているため、雪への対応を考慮した設計を願いたい。

A. 関口市長

- ①大きい工事なので、議会の承認が必要だが、6 月議会では議決がもらえない。9 月議会前に臨時会を招集して議決をもらわないといけないと考えている。
- ②早めに教育委員会に相談してもらいたい。

3. 発言者

- ・都会で成功した地元出身者、組織への調査等を実施し、知恵（アイデア）を出してもらいたい。

A. 関口市長

- ・議会にも報告したが、多くの方から寄付をいただいている。ふるさとを思う気持ちは理屈ではない。ふるさとを思っている人といかに繋がるかであると思う。